

## 部門別計画の進捗状況

## 第1章 市民の福祉と健康

## 1-1 福祉

## 1-1-1 高齢者福祉

## 1 安心して介護が受けられる仕組みづくり

## ●数値目標

|  | 計画策定時の数値        | 18年度実績値 | 目標値  |      | 進捗状況 | 所管局   |
|--|-----------------|---------|------|------|------|-------|
|  |                 |         | 18年度 | 22年度 |      |       |
| 利用している在宅介護サービスに関する満足度  | 79.7%<br>(14年度) | 81.2%   | 85%  | 90%  |      | 健康福祉局 |
| の理由：平成18年4月の介護保険制度の改正に伴い、通所介護事業所が新たに取り組むこととなった栄養指導などの項目について、満足という評価が得られなかったため。 |                 |         |      |      |      |       |

## ●事業計画

| 事業名                   | 事業内容   | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]          | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]                           | 進捗状況 | 所管局   |
|-----------------------|--|------------------------------|---|------|-------|
| 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の改定 | 介護保険事業を円滑に推進し、高齢者の保健福祉施策を充実するため、高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画を一体として定めた「はつらつ長寿プランなごや2003」を改定                                   | 計画の改定                        | 「はつらつ長寿プランなごや2006」策定・公表                     |      | 健康福祉局 |
| 介護サービスの質の確保           | 介護サービスの問題点を把握し、運営を改善するため、サービスの提供者と利用者がそれぞれ評価を行う事業者自己評価・ユーザー評価を実施<br><br>各種相談および介護サービス利用にかかる契約の助言などを行う介護保険アドバイザーを派遣 | 実施<br><br>拡充(グループホームへの定期的派遣) | 実施<br><br>拡充(グループホームへの定期的派遣)                |      | 健康福祉局 |
| 在宅サービスセンターの設置         | 全区での開設をめざして在宅サービスの提供と地域福祉活動の推進拠点となる施設を設置   | 累計9か所<br>[ 完成2か所<br>着工1か所 ]  | 累計9か所<br>[ 完成1か所<br>実施設計<br>1か所<br>調査 1か所 ] |      | 健康福祉局 |

| 事業名                         | 事業内容  | 計画目標<br>〔～の事業量等〕   | 実績<br>〔～の事業量等〕  | 進捗<br>状況 | 所管局   |
|-----------------------------|---|--|---|----------|-------|
| 認知症高齢者調査研究事業                | 認知症高齢者などが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような支援体制の整備のための研究資料とするため、療養状況、介護状況などの実態調査や虐待問題などの研究を実施                                     | 実態調査・研究の実施   | 実態調査・研究の実施  |          | 健康福祉局 |
| 短期入所（ショートステイ）の充実            | 安心して在宅介護ができるよう、介護者が病気や事故、出産などで一時的に介護ができない場合に、要介護者などを一定期間受け入れて、入浴、食事、排せつなどの介護その他の日常生活上の世話や機能訓練を行う施設を整備                 | 累計878床<br>〔運用139床<br>完成 45床〕                                       | 累計963床<br>〔運用235床<br>完成 15床<br>着工 40床〕  |          | 健康福祉局 |
| 特別養護老人ホームの整備                | 常時の介護を必要とし、在宅での生活が難しい高齢者の日常生活を支援するため、入浴、食事、排せつなどの介護や機能訓練などを行う入所施設を整備  | 累計58か所<br>定員5,204人<br>〔開設12か所<br>(うち増築2か所)<br>完成5か所<br>(うち増築1か所)〕  | 累計57か所<br>定員5,125人<br>〔開設11か所<br>(うち増築2か所)<br>完成4か所<br>(うち増築2か所)<br>着工4か所<br>(うち増築1か所)〕 |          | 健康福祉局 |
| 介護老人保健施設および通所リハビリテーション施設の整備 | 病状が安定し、入院治療する必要のない要介護者などの日常生活を支援するため、リハビリテーションや看護・介護サービスを行う入所施設を整備し、あわせて日常生活の自立を助けるため、理学療法、作業療法などのリハビリテーションを行う通所施設を併設 | 累計55か所<br>定員5,479人<br>(うち通所リハビリテーション併設累計54か所)<br>〔開設13か所<br>着工2か所〕 | 累計55か所<br>定員5,551人<br>(うち通所リハビリテーション併設累計55か所)<br>〔開設14か所〕                               |          | 健康福祉局 |

平成16年12月24日付け厚生労働省通知により、本文中の「痴ほう」、「痴ほう性」については、「認知症」に変更

## 2 地域において安心して生活できるための支援

## ●数値目標

|                   | 計画策定時の数値      | 18年度実績値 | 目標値  |      | 進捗状況 | 所管局   |
|-------------------|---------------|---------|------|------|------|-------|
|                   |               |         | 18年度 | 22年度 |      |       |
| 日常生活が自立している高齢者の割合 | 85%<br>(15年度) | 85%     | 85%  | 85%  |      | 健康福祉局 |

## ●事業計画

| 事業名  | 事業内容  | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]                             | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]                                      | 進捗状況 | 所管局   |
|--|---|---|--|------|-------|
| 配食サービス事業   | 介護が必要な高齢者や身体障害者、ひとり暮らしの高齢者などの在宅生活を支援するため、自宅に食事を配達するとともに安否の確認などを実施 | 利用者数の拡大   | 生活援助型配食サービス事業利用者<br>4,943人<br><br>自立支援配食サービス事業<br>321人 |      | 健康福祉局 |
| はいかい高齢者家族支援サービス事業  | 介護者の負担を軽減するため、認知症高齢者などがはいかいした場合に、小型発信機の活用などにより早期発見・早期保護できるよう支援    | 開始<br>利用者数<br>100人                              | -  | -    | 健康福祉局 |
| - の理由：民間事業者によるサービスが実施されているため。                                  |   |   |  |      |       |
| 養護老人ホームの整備   | 心身または家庭環境の理由と経済的理由により在宅での養護を受けることが難しい高齢者の入所施設を整備                  | 累計6か所<br>定員770人<br>[ 着工1か所 ]                    | -  | -    | 健康福祉局 |
| - の理由：養護老人ホームの待機者の減少傾向を踏まえ、利用希望の多い特別養護老人ホームの整備を優先させていく必要があるため。 |   |   |  |      |       |
| ケアハウスの整備   | 身体機能の低下などにより独立して生活することに不安がある高齢者が、在宅サービスを活用しながら自立した生活ができる入所施設を整備   | 累計17か所<br>定員441人<br>[ 開設1か所<br>完成2か所<br>着工1か所 ] | 累計18か所<br>定員461人<br>[ 開設2か所 ]                          |      | 健康福祉局 |

| 事業名      | 事業内容   | 計画目標<br>〔 ~ の事業量等 〕 | 実績<br>〔 ~ の事業量等 〕 | 進捗<br>状況 | 所管局   |
|----------|--|---------------------|-------------------|----------|-------|
| 福祉給付金の支給 | 安心して療養することができるようにするため、高齢障害者などの医療費の一部負担相当額を助成 | 実施                  | 実施                |          | 健康福祉局 |

## 3 健康で生きがいを感じられる生活への支援

## ●数値目標

|                            | 計画策定時の数値  | 18年度実績値  | 目標値      |          | 進捗状況 | 所管局   |
|----------------------------|---|----------|----------|----------|------|-------|
|                            |   |          | 18年度     | 22年度     |      |       |
| 自分が健康であると感じている高齢者の割合       | 58%<br>(13年度)   | 57%      | 59%      | 60%      |      | 健康福祉局 |
|                            | の理由：平成17年9月、厚生労働省が生活習慣病対策にメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の概念を導入し、広く国民に浸透しつつあることから、健康に対する考え方に変化が現れていると考えられる。 |          |          |          |      |       |
| シルバー人材センターを通じて働く高齢者の就業延べ人数 | 489,711人<br>(14年度)  | 778,653人 | 550,000人 | 790,000人 |      | 健康福祉局 |

## ●事業計画

| 事業名   | 事業内容  | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]    | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]               | 進捗状況 | 所管局   |
|-------|---|------------------------|---------------------------------|------|-------|
| 介護の予防 | 地域に生活する虚弱な高齢者やその家族などを対象に保健師などが家庭訪問し、介護予防に必要な支援や療養相談、健康管理に関する指導などを実施 | 訪問指導件数<br>年24,300件     | 訪問指導件数<br>11,025件<br>13,565件    | -    | 健康福祉局 |
|       | 家庭訪問などにより健康状態や生活状況などをふまえた介護予防支援計画を作成                                | 介護予防支援計画の作成<br>年5,300件 | 介護予防支援計画の作成<br>1,685件<br>4,961件 |      |       |
|       | 高齢者の骨折や認知症を予防し、心身の機能の維持をはかるため、身近な地域において転倒予防教室や認知症予防教室、リハビリ教室を実施     | 転倒予防教室<br>年48回         | 転倒予防教室<br>33回<br>38回            |      |       |
|       |   | 認知症予防教室<br>年48回        | 認知症予防教室<br>33回<br>37回           |      |       |
|       |   | リハビリ教室<br>年2,400回      | リハビリ教室<br>2,358回<br>2,427回      |      |       |

|  |  |               |  |  |       |
|--|--|---------------|--|--|-------|
|  |  |               | 介護保険法改正に伴い、体系を変更<br><br>虚弱高齢者への取り組み<br>通所型介護予防事業（運動器の機能向上など）および訪問型介護予防事業<br><br>すべての高齢者への取り組み<br>地域介護予防教室、地域住民グループ支援事業など |  |       |
| - の理由：平成18年度の介護保険制度改正により、虚弱高齢者を対象とした通所型介護予防事業および訪問型介護予防事業と、すべての高齢者を対象とした介護予防に関する知識の普及・啓発に関する事業に変更したため。 |  |               |  |  |       |
| 高齢者就業支援センター事業  | 高齢者の就業に関する相談や情報提供、技能講習から仕事の紹介まで一貫したサービスを提供するほか、高齢者による地域でのNPOなどの設立を支援することにより、高齢者共助を推進 | 実施            | 実施   |  | 健康福祉局 |
| シルバー人材センター事業   | 高齢者がその豊かな知識や経験を生かして生きがい高め、社会活動を行うことができるよう、臨時的・短期的な就業の場を提供                            | 会員数<br>9,700人 | 会員数<br>8,355人  |  | 健康福祉局 |
| 福祉会館の整備  | 高齢者の健康の増進、教養の向上のためのサービスを提供する施設を改築  | 改築2館          | 改築1か所<br>基本設計1か所   |  | 健康福祉局 |

| 事業名            | 事業内容                           | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]  | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]                       | 進捗<br>状況 | 所管局   |
|----------------|--------------------------------|----------------------|---|----------|-------|
| 敬老パスおよび敬老手帳の交付 | 高齢者の社会参加を促進するため、敬老パスおよび敬老手帳を交付 | 敬老パスについては一部負担を導入して実施 | 敬老パスについては一部負担を導入して実施<br><br>あおなみ線への適用開始 |          | 健康福祉局 |

## 1-1-2 児童福祉

## 1 子どもを生き育てやすい環境づくり

## ●数値目標

|                           | 計画策定時の数値         | 18年度実績値 | 目標値     |         | 進捗状況 | 所管局     |
|---------------------------|------------------|---------|---------|---------|------|---------|
|                           |                  |         | 18年度    | 22年度    |      |         |
| 子育てに不安を感じていない親の割合         | 31.6%<br>(13年度)  | 34.3%   | 35%     | 40%     |      | 子ども青少年局 |
| のびのび子育てサポート事業による子育て支援活動件数 | 5,881件<br>(14年度) | 19,077件 | 10,000件 | 17,000件 |      | 子ども青少年局 |

## ●事業計画

| 事業名                     | 事業内容  | 計画目標<br>〔～の事業量等〕                             | 実績<br>〔～の事業量等〕                               | 進捗状況 | 所管局           |
|-------------------------|---|--|--|------|---------------|
| 次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の策定 | 次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備<br>「次世代育成支援対策」を推進するための具体的な目標を定める計画を策定 | 行動計画の策定                                      | 行動計画の策定・推進                                   |      | 子ども青少年局はじめ関係局 |
| 保育所の整備                  | 保育所入所待機児童の解消のため、保育所の新設、定員増を実施するとともに、耐震対策や老朽化した保育所の改築を実施                 | 保育所数<br>累計276か所<br>分園7か所<br>〔新設4か所<br>改築2か所〕 | 保育所数<br>累計279か所<br>分園6か所<br>〔新設6か所<br>改築1か所〕 |      | 子ども青少年局       |
| 保育内容の充実                 | 仕事と子育ての両立を支えるため、保護者の勤務時間の多様化に対応した保育サービスを充実                              | 延長保育<br>137か所                                | 延長保育<br>132か所                                |      | 子ども青少年局       |
| 子育て家庭への支援の充実            | 子どもを安心して生み、育てる環境を整備するため、第3子以降を対象とした市独自の手当制度および保育料軽減措置を開始                | 開始   | 開始   |      | 子ども青少年局       |

|                |   |  |   |  |         |
|----------------|---|--|---|--|---------|
|                | <p>子育て総合相談窓口において、子育てに関するさまざまな相談に応じるほか、保育所において家庭での育児不安などに対する相談体制を強化</p> <p>初妊婦や初めて乳児を持つ親が子育ての情報の交換や仲間づくりができる子育てサロン事業などに加え、地域において自主的に子育て交流・相談活動を行っている子育て支援サークルなどへの支援事業を開始</p> | <p>子育て総合相談窓口<br/>全区で実施</p> <p>保育所で育児相談や地域交流を行う子育て支援事業を実施</p> <p>一部の保育所などで子育て支援センター事業を開始し、相談体制を強化</p> <p>子育てサロン<br/>全区で実施</p> <p>子育て支援サークルなどへの支援事業を開始</p> | <p>子育て総合相談窓口<br/>全区で実施</p> <p>保育所で育児相談や地域交流を行う子育て支援事業を実施</p> <p>地域子育て支援センター事業を開始<br/>25か所</p> <p>子育てサロン<br/>全区で実施</p> <p>子育て支援サークルなどへの支援事業を実施<br/>3か所<br/>10か所<br/>10か所</p> |  |         |
| なごや子育て情報プラザの拡充 | <p>地域での子育てを支援するため、会員組織をつくり、子育てを支援してほしい人と手助けしたい人の登録・仲介を実施</p> <p>コーディネーターを配置し、子育てに関する制度の利用相談・支援などを開始</p>   | <p>のびのび子育てサポート事業登録者数<br/>2,800人</p> <p>子育て支援コーディネーター事業を開始</p>  | <p>のびのび子育てサポート事業登録者数<br/>1,960人<br/>2,458人<br/>3,078人</p> <p>支部4か所設置</p> <p>子育て支援コーディネーター事業を開始</p>  |  | 子ども青少年局 |
| 不妊治療費の助成       | <p>不妊治療の経済的負担の軽減をはかるため、高額な医療費がかかる体外受精、顕微授精に要する費用の一部を助成</p>  | <p>開始</p>  | <p>開始</p>   |  | 子ども青少年局 |

## 2 子どもが健やかに育つ環境づくり

## ●数値目標

|             | 計画策定時の数値      | 18年度実績値 | 目標値  |      | 進捗状況 | 所管局     |
|-------------|---------------|---------|------|------|------|---------|
|             |               |         | 18年度 | 22年度 |      |         |
| 児童館の利用者の満足度 | 93%<br>(13年度) | 97%     | 95%  | 98%  |      | 子ども青少年局 |

## ●事業計画

| 事業名          | 事業内容  | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]          | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]  | 進捗状況 | 所管局     |
|--------------|---|------------------------------|--|------|---------|
| 児童館の整備       | 遊びを通して、子どもたちの健やかな成長をはかり、健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする児童館を改築 | 改築2館                         | 改築1か所<br>基本設計1か所   |      | 子ども青少年局 |
| 留守家庭児童健全育成事業 | 子育てをしながら安心して働きつづけることができるよう、放課後の児童の健全育成を実施             | 実施<br>児童館16館<br>育成会<br>195か所 | 実施<br>児童館16館<br>育成会<br>176か所<br><br>助成の拡大<br>開設時間を1時間延長<br>家賃助成限度額を1万4千円増<br>障害児加算の対象を6年生まで拡大<br>ひとり親家庭保護者負担減免助成制度(月3,000円限度)の創設 |      | 子ども青少年局 |

## 3 援助を必要とする子どもと家庭の自立の支援

## ●数値目標

|   | 計画策定時の数値      | 18年度実績値 | 目標値  |      | 進捗状況 | 所管局     |
|---|---------------|---------|------|------|------|---------|
|   |               |         | 18年度 | 22年度 |      |         |
| 児童養護施設、乳児院からの家庭復帰および自立率                   | 83%<br>(14年度) | 75%     | 87%  | 91%  |      | 子ども青少年局 |
| の理由：被虐待児など、家庭復帰に相当時間を要する児童が増加していることなどによる。 |               |         |      |      |      |         |

## ●事業計画

| 事業名         | 事業内容  | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]  | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]  | 進捗状況 | 所管局     |
|-------------|---|--|--|------|---------|
| 児童虐待への対応強化  | 児童虐待の防止と的確な対応を推進するため、相談体制を充実するとともに、保護した後の児童の精神的な安定をはかるなど児童相談所機能を強化<br><br>虐待やいじめの被害を受けた児童の自立を支援するため、児童養護施設および児童相談所においてカウンセリングなどの心理療法を実施 | 児童虐待対応協力員の増員<br><br>弁護士による相談・支援体制を充実<br><br>一時保護所の生活環境を改善<br><br>14か所で実施 | 児童虐待対応協力員の増員<br><br>弁護士による相談・支援体制を充実<br><br>一時保護所の生活環境を改善<br><br>13か所で実施 |      | 子ども青少年局 |
| 児童福祉センターの整備 | 児童福祉の総合機関である児童福祉センターを移転改築   | 実施設計   | 基本設計   |      | 子ども青少年局 |
| 児童養護施設の整備   | 保護者のいない児童、虐待されている児童などを養護し、自立を支援する施設を整備  | 児童養護施設<br>[改築1か所]<br><br>地域小規模児童養護施設<br>累計2か所<br>[開設1か所]                 | 児童養護施設<br>[改築1か所]<br><br>地域小規模児童養護施設<br>累計4か所<br>[開設3か所]                 |      | 子ども青少年局 |

| 事業名                | 事業内容                                     | 計画目標<br>〔 ~ の事業量等 〕 | 実績<br>〔 ~ の事業量等 〕 | 進捗<br>状況 | 所管局     |
|--------------------|--|---------------------|-------------------|----------|---------|
| 児童自立支援施設「玉野川学園」の改築 | 生活指導を必要とする児童の自立を支援する施設を改築                | 実施設計                | 調査                | -        | 子ども青少年局 |
|                    | - の理由：改築の必要性について検討を加え、寮舎改修にて対応することとしたため。 |                     |                   |          |         |
| 母子家庭及び寡婦等自立促進計画の策定 | 母子家庭などの自立に関する総合的支援策の基本方針として自立促進計画を策定     | 計画の策定               | 計画の策定・公表          |          | 子ども青少年局 |

## 1-1-3 障害児・障害者福祉

## 1 地域における自立した生活の実現

## ●数値目標

|                           | 計画策定時の数値      | 18年度実績値 | 目標値  |      | 進捗状況 | 所管局   |
|---------------------------|---------------|---------|------|------|------|-------|
|                           |               |         | 18年度 | 22年度 |      |       |
| 利用している支援費制度の在宅サービスに関する満足度 | 79%<br>(15年度) | -       | 85%  | 90%  | *    | 健康福祉局 |

## ●事業計画

| 事業名                 | 事業内容  | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]                                      | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]                               | 進捗状況 | 所管局   |
|---------------------|---|--|---|------|-------|
| 障害児者の生活支援           | 障害児者が地域で主体的に生活することができるよう、障害児者施設などにおいて、福祉サービスの利用援助や利用の調整、相談などを実施<br><br>精神障害者からの相談に応じ、必要な指導助言を行うとともに、関係機関との連絡調整などを行う精神障害者地域生活支援センターを整備 | 実施<br><br>精神障害者地域生活支援センター<br>累計3か所<br>[ 開設1か所<br>完成1か所 ] | 実施<br><br>精神障害者地域生活支援センター<br>累計3か所<br>[ 開設1か所 ] |      | 健康福祉局 |
| 障害児者短期入所（ショートステイ）事業 | 介護者の疾病などによって居宅における介護が困難となった障害児者を短期間受け入れ、介護などを行う事業を実施  | 利用延べ日数<br>年38,000日                                       | 利用延べ日数<br>24,274日<br>29,098日<br>28,113日         |      | 健康福祉局 |
| 障害者・認知症高齢者権利擁護事業    | 障害者や認知症高齢者が地域で安心して生活できるよう、権利擁護、財産管理に関する相談、金銭管理サービス、財産保全サービスなどの事業を実施   | 分室を設置  | 分室を設置   |      | 健康福祉局 |

平成18年4月に障害者自立支援法が施行され、同法によるサービス提供がなされているところである。

| 事業名   | 事業内容   | 計画目標<br>〔～の事業量等〕   | 実績<br>〔～の事業量等〕  | 進捗<br>状況 | 所管局   |
|---|--|--|---|----------|-------|
| 障害者の居住の場の確保   | <p>身体障害者および精神障害者が地域で自立した生活を送ることができるよう、低料金で利用できる身体障害者・精神障害者福祉ホームを整備</p> <p>知的障害者および精神障害者が地域で自立した生活を送ることができるよう、専任の職員による援助を受けて共同して生活する知的障害者・精神障害者グループホーム事業を実施</p> | <p>身体障害者福祉ホーム<br/>累計4か所<br/>〔開設1か所〕</p> <p>精神障害者福祉ホーム<br/>累計1か所<br/>〔完成1か所〕</p> <p>知的障害者グループホーム<br/>累計89か所<br/>〔開設21か所〕</p> <p>精神障害者グループホーム<br/>累計12か所<br/>〔開設5か所〕</p> | <p>身体障害者福祉ホーム<br/>累計4か所<br/>〔開設1か所〕</p> <p>精神障害者福祉ホーム<br/>累計1か所<br/>〔 - 〕</p> <p>知的障害者グループホーム<br/>累計101か所<br/>〔開設33か所〕</p> <p>精神障害者グループホーム<br/>累計15か所<br/>〔開設9か所〕</p> |          | 健康福祉局 |
| 知的障害者通所更生施設の整備  | 知的障害者が自立した生活を送ることができるよう、通所による指導・訓練を行う施設を整備   | 累計5か所<br>〔開設2か所〕   | <p>知的障害者通所更生施設<br/>累計5か所<br/>〔開設2か所〕</p> <p>自立訓練等施設<br/>〔完成1か所〕</p>   |          | 健康福祉局 |
| 精神障害者生活訓練施設の整備  | 精神障害者が日常生活に適應することができるよう、必要な訓練や指導を行うことにより、社会復帰を促進する施設を整備  | 累計3か所<br>〔開設1か所〕<br>〔完成1か所〕  | 累計3か所<br>〔開設1か所〕  |          | 健康福祉局 |
| <p>の理由：障害者自立支援法の施行に伴ってサービス体系が変更されたことから、施設のあり方について改めて検討することとし、新規施設整備を行わなかった。</p> |  |  |   |          |       |

| 事業名                             | 事業内容   | 計画目標<br>〔～の事業量等〕  | 実績<br>〔～の事業量等〕   | 進捗<br>状況 | 所管局             |
|---------------------------------|--|---|--|----------|-----------------|
| 障害児者日<br>帰り介護（デ<br>イサービス）<br>事業 | 在宅の障害児者が生きが<br>いを高め、自立した生活<br>を送ることができるよ<br>う、通所により創作的活<br>動、機能訓練、社会適応<br>訓練を行う事業を実施   | 累計28か所<br>〔開設2か所<br>完成1か所〕<br><br>他に、重症心身<br>障害児小規模<br>通所援護事業<br>などからの移<br>行により増加 | デイサービス<br>型地域活動支<br>援事業所<br>累計26か所<br><br>児童デイサー<br>ビス<br>累計48か所<br><br>生活介護に移<br>行した事業所<br>累計15か所 |          | 健康福<br>祉局       |
| 療育体制の<br>整備                     | 障害の早期発見とその軽<br>減をはかるため、身近な<br>地域で相談や医療・訓練<br>など総合的な療育を実施<br>する体制を整備<br><br>・障害の早期発見・療育を<br>行う障害児総合通園セ<br>ンターを地域療育セン<br>ターの機能を含んで改<br>築<br><br>・地域療育センターの整<br>備 | 実施設計<br><br><br>累計3か所<br>〔用地選定<br>1か所〕  | 基本設計<br><br><br>累計3か所<br>〔用地検討〕  |          | 子ども<br>青少年<br>局 |
| 障害者アフ<br>ターケア事<br>業             | 脳血管疾患などの急性期<br>の治療や機能回復訓練を<br>終えた在宅の青壮年期の<br>身体障害者が、社会復帰・<br>社会参加できるような社<br>会的リハビリテーション<br>を実施   | 開設1か所   | 開設1か所  |          | 健康福<br>祉局       |
| 障害者医療<br>費助成                    | 本人所得が一定の基準以<br>下の方を対象に医療機関<br>窓口における患者負担額<br>を助成   | 精神障害者保<br>健福祉手帳1級<br>所持者を対象<br>に拡大  | 精神障害者保<br>健福祉手帳1級<br>所持者を対象<br>に拡大   |          | 健康福<br>祉局       |

## 2 障害の重度化、重複化および障害者、介護者の高齢化への対応

## ●数値目標

|                      | 計画策定時の数値   | 18年度実績値 | 目標値  |      | 進捗状況 | 所管局   |
|----------------------|--|---------|------|------|------|-------|
|                      |  |         | 18年度 | 22年度 |      |       |
| 在宅重症心身障害児者の通所施設等の利用率 | 80%<br>(14年度)  | 79%     | 85%  | 90%  |      | 健康福祉局 |
|                      | の理由：平成18年4月の障害者自立支援法施行に伴う制度変更の影響で事業所数の増が伸び悩む中、重症心身障害児者数は、増加しているため。 |         |      |      |      |       |

## ●事業計画

| 事業名                                  | 事業内容  | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]            | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]   | 進捗状況 | 所管局   |
|--------------------------------------|---|--------------------------------|---|------|-------|
| 重症心身障害児者の援護                          | 重症心身障害児者が安心して生活できるよう、入所により医療ケアや介護を実施するとともに、重症心身障害児者の地域生活支援の拠点となる施設を整備<br><br>地域生活を支援するため、重症心身障害児者の日常生活動作訓練などを行う通園事業を実施<br><br>小規模通所援護事業のデイサービス事業への移行を促進 | 整備計画の作成<br><br>累計3か所<br><br>実施 | 整備計画の作成<br><br>累計1か所<br>[ 開設1か所 ]<br><br>新体系サービス(生活介護など)への移行を促進 |      | 健康福祉局 |
| 身体障害者療護施設の整備                         | 常時の介護が必要な重度身体障害者が安心して生活を送ることができるよう、日常生活の訓練や介護を行う入所施設を整備   | 累計3か所<br>[ 完成1か所 ]             | 累計3か所<br>[ - ]  |      | 健康福祉局 |
| の理由：建設について、整備主体となる法人との整備条件が整わなかったため。 |   |                                |   |      |       |

| 事業名  | 事業内容                                       | 計画目標<br>〔 ~ の事業量等 〕 | 実績<br>〔 ~ の事業量等 〕 | 進捗<br>状況 | 所管局   |
|--|--|---------------------|-------------------|----------|-------|
| 知的障害者<br>更生施設の<br>整備   | 知的障害者が自立した生活を送ることができるよう、必要な指導、訓練を行う入所施設を整備 | 累計9か所<br>〔着工1か所〕    | 累計9か所<br>〔 - 〕    | -        | 健康福祉局 |
| - の理由：障害者自立支援法の施行に伴い、知的障害者の地域移行を進める観点から、グループホーム、ケアホームの設置を促進し、本施設については見直しすることとした。 |  |                     |                   |          |       |

## 3 就労の場の確保と社会参加の促進

## ●数値目標

|                     | 計画策定時の数値                                       | 18年度実績値 | 目標値  |      | 進捗状況 | 所管局   |
|---------------------|--|---------|------|------|------|-------|
|                     |  |         | 18年度 | 22年度 |      |       |
| 授産施設等に通っている知的障害者の割合 | 32%<br>(14年度)                                  | 33%     | 35%  | 39%  |      | 健康福祉局 |
|                     | の理由：新規整備により、定員数は増加したものの、対象となる障害者数がそれ以上に増加したため。 |         |      |      |      |       |

## ●事業計画

| 事業名      | 事業内容   | 計画目標<br>〔～の事業量等〕                    | 実績<br>〔～の事業量等〕   | 進捗状況 | 所管局   |
|----------|--|-------------------------------------|--|------|-------|
| 障害者の雇用支援 | <p>障害者雇用支援センターにおいて、一般就労や継続就労が困難な障害者に、就業に必要な職業訓練を実施するとともに、就職後の職業生活における助言や指導を実施</p> <p>就業面・生活面への支援が必要な障害者に、職業訓練のあっせんから職場定着にいたるまで、就労と日常生活の両面から一体的な支援を行う障害者就労生活援助センターを設置</p> | <p>就職者数<br/>累計156人</p> <p>開始2か所</p> | <p>就職者数<br/>累計191人</p> <p>開始1か所<br/>(18年4月から<br/>県に移管)</p> |      | 健康福祉局 |

| 事業名         | 事業内容  | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]  | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]   | 進捗<br>状況 | 所管局   |
|-------------|---|--|---|----------|-------|
| 授産施設等の確保    | <p>障害者が働く機会を得て自活することができるよう、作業訓練や指導を行う通所授産施設を整備</p> <p>障害者に作業の場を提供して作業指導や生活訓練を行う小規模作業所を支援するとともに、小規模通所授産施設などへの移行を促進</p> | <p>通所授産施設<br/>累計45か所<br/>[ 開設5か所<br/>改築1か所<br/>完成1か所 ]</p> <p>小規模通所授産施設<br/>累計25か所<br/>[ 開設19か所 ]</p> <p>小規模作業所<br/>累計90か所<br/>[ 開設32か所<br/>移行25か所 ]</p> | <p>通所授産施設<br/>累計44か所<br/>[ 開設4か所 ]</p> <p>就労継続支援等施設<br/>[ 開設1か所<br/>完成2か所 ]</p> <p>小規模通所授産施設<br/>累計6か所<br/>[ 開設5か所<br/>改築1か所<br/>移行5か所 ]</p> <p>小規模作業所<br/>累計84か所<br/>[ 開設29か所<br/>移行25か所 ]</p> |          | 健康福祉局 |
| 市営交通料金等の軽減  | 障害者の社会参加を促進するため、市営公共交通料金などの軽減を実施  | 実施   | 実施  |          | 健康福祉局 |
| 身体障害者補助犬の育成 | <p>従来からの盲導犬に加え、介助犬および聴導犬についても育成費用・飼育費用を助成</p> <p>総合リハビリテーションセンターにおいて補助犬の認定・相談などを実施</p>                                | <p>補助犬育成助成</p> <p>認定・相談などの実施</p>   | <p>補助犬育成助成</p> <p>認定・相談などの実施</p>  |          | 健康福祉局 |

## 1-1-4 福祉のまちづくり

## 1 すべての人にやさしいまちづくりの推進

## ●数値目標

|                            | 計画策定時の数値      | 18年度実績値 | 目標値  |      | 進捗状況 | 所管局   |
|----------------------------|---------------|---------|------|------|------|-------|
|                            |               |         | 18年度 | 22年度 |      |       |
| 地下鉄駅において車いすルートが確保されている割合   | 55%<br>(14年度) | 87%     | 87%  | 100% |      | 交通局   |
| 民間鉄道駅舎において車いすルートが確保されている割合 | 45%<br>(14年度) | 68%     | 63%  | 74%  |      | 健康福祉局 |

## ●事業計画

| 事業名                  | 事業内容  | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]                            | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]  | 進捗状況 | 所管局                           |
|----------------------|---|--|--|------|-------------------------------|
| 交通バリアフリー法重点整備地区の整備   | 高齢者や障害者などが安全で快適に移動できるよう、旅客施設を中心とした一定の地区について、基本構想を策定し、段差解消など歩行空間を整備<br><br>・金山駅地区<br><br>・栄・久屋大通駅地区<br><br>・名古屋駅地区 | 完了<br><br>基本構想の策定<br><br><br><br>整備・完了         | 完了<br><br>基本構想の策定・整備<br><br>歩道整備<br>269m<br><br>完了<br><br>地下街など長期的な整備について民間と調整 |      | 緑政土木局、健康福祉局はじめ関係局             |
| 公共交通機関におけるバリアフリー化の推進 | 地下鉄駅において、車いすルートを確保し、エレベーターおよび車いす使用者対応トイレを設置   | 車いすルート確保<br>83駅中72駅<br><br>エレベーター設置<br>83駅中71駅 | 車いす1ルート確保<br>83駅中72駅<br>[20駅]<br><br>エレベーター設置<br>83駅中72駅<br>[21駅]              |      | 交通局<br><br>健康福祉局<br><br>住宅都市局 |

|   |  |                    |
|---|--|--------------------|
|   | <p>車いす使用者<br/>対応トイレ設<br/>置<br/>83駅中73駅</p> <p>車いす使用者<br/>対応トイレ設<br/>置<br/>83駅中73駅<br/>[13駅]</p>  |                    |
| 地下鉄車両に車内案内表示装置、車いすスペースおよび転落防止外ホ口を設置         | <p>車内案内表示<br/>装置設置率<br/>75%</p> <p>車内案内表示<br/>装置設置率<br/>75%<br/>[新車2編成導入]</p> <p>車いすスぺ<br/>ース設置率<br/>56%</p> <p>車いすスぺ<br/>ース設置率<br/>56%<br/>[新車2編成導入]</p> <p>転落防止外ホ<br/>口設置率<br/>63%</p> <p>転落防止外ホ<br/>口設置率<br/>63%<br/>[新車2編成導入<br/>既存車36編成<br/>改造]</p> |                    |
| 市バス車両にノンステップバスを導入するとともに、車内案内表示装置、車いすスペースを設置 | <p>ノンステップ<br/>バス車両率<br/>37%</p> <p>ノンステップ<br/>バス車両率<br/>43%<br/>[新車242両導入]</p> <p>車内案内表示<br/>装置設置率<br/>100%</p> <p>車内案内表示<br/>装置設置率<br/>100%<br/>[新車242両導入]</p> <p>車いすスぺ<br/>ース設置率<br/>100%</p> <p>車いすスぺ<br/>ース設置率<br/>100%<br/>[新車242両導入]</p>           |                    |
| 大規模な民間鉄道駅舎の車いすルートを確保                        | 70駅中44駅  | 69駅中47駅            |
| ガイドウェイバスシステム志段味線について、ノンステップバスの導入を検討         | 新車両の構造検討   | ガイドウェイバス高度化基本方針の検討 |

| 事業名                   | 事業内容  | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]           | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]  | 進捗<br>状況 | 所管局                |
|-----------------------|---|-------------------------------|--|----------|--------------------|
| セイフティ<br>ライブロード<br>事業 | 高齢者・障害者の利用が多い施設の周辺において、足への衝撃を和らげる舗装などを面的に実施                           | 累計16地区<br>[ 完了4地区<br>整備中2地区 ] | 累計17地区<br>[ 完了6地区 ]  |          | 緑政土木局              |
| 利用しやすい建築物などの整備促進      | 多くの市民が日常利用する建築物を対象に、福祉環境整備に関する事前協議の実施、やさしさマークの交付やハートビル法に基づく計画の認定などを実施 | 実施                            | 県条例、本市要綱に基づく協議<br>累計9,590件<br>[ 1,914 件 ]<br><br>やさしさマークの交付<br>累計231件<br>[ 9 件 ]<br><br>ハートビル法に基づく計画の認定<br>累計37件<br>[ 18 件 ]<br><br>県条例に基づく適合証の交付<br>[ 341 件 ] |          | 健康福祉局<br><br>住宅都市局 |
| 福祉用具プラザ事業の推進          | 高齢者や障害者の自立を支援するとともに、介護者の負担を軽減するため、福祉用具や在宅介護の普及啓発の拠点として、展示や相談、実習などを実施  | 実施                            | 実施   |          | 健康福祉局              |
| 心(意識)のバリアフリーの推進       | 障害を正しく理解するとともに、偏見や差別のない、すべての人が心を通い合わせて生活できるまちづくりを推進するため、啓発活動などを実施     | 実施                            | 実施   |          | 健康福祉局はじめ関係局        |

## 2 地域で支えあう福祉の促進

## ●数値目標

|                       | 計画策定時の数値        | 18年度実績値        | 目標値  |      | 進捗状況 | 所管局   |
|-----------------------|-----------------|----------------|------|------|------|-------|
|                       |                 |                | 18年度 | 22年度 |      |       |
| 地域での支えあい活動に関心のある市民の割合 | 67.5%<br>(15年度) | 70.8%<br>(参考値) | 70%  | 80%  | *    | 健康福祉局 |

## ●事業計画

| 事業名           | 事業内容  | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]   | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]   | 進捗状況 | 所管局                       |
|---------------|---|---|---|------|---------------------------|
| 地域福祉の推進       | <p>地域における生活ニーズを明らかにし、公民協働により多様なサービスを提供できる体制を整備するための計画を策定し、市民一人ひとりが安心して生活することができるよう地域で支えあう仕組みづくりを推進</p> <p>・地域福祉計画の策定</p> <p>・ふれあい給食サービス、ふれあいネットワーク活動の促進、福祉ボランティア活動の支援など</p> | <p>計画策定</p> <p>実施</p>   | <p>計画策定・公表</p> <p>実施</p>  |      | 健康福祉局                     |
| 福祉総合情報システムの整備 | <p>利用者の視点に立ったきめ細やかな福祉サービスを実施できるよう、多様な福祉情報をデータベース化したオンラインシステムを構築</p>   | 62業務システム化   | 62業務システム化   |      | 健康福祉局                     |
| 住居のない者の相談支援事業 | <p>住居のない者（ホームレス）の自立と生活の安定をはかるため、自立支援事業、緊急一時宿泊施設（シェルター）および更生施設を運営するとともに、生活相談員による生活相談を実施</p> <p>再度、住居のない状態に陥らせないための相談支援を実施</p>  | <p>自立支援事業、シェルター、更生施設 各2か所</p> <p>巡回相談の拡充</p> <p>地域生活支援事業の実施</p> | <p>自立支援事業、シェルター、更生施設 各2か所</p> <p>巡回相談の拡充</p> <p>地域生活支援事業の実施</p> |      | <p>健康福祉局</p> <p>緑政土木局</p> |

| 事業名                                   | 事業内容                                      | 計画目標<br>〔 ~ の事業量等 〕 | 実績<br>〔 ~ の事業量等 〕 | 進捗<br>状況 | 所管局   |
|---------------------------------------|---|---------------------|-------------------|----------|-------|
| 生活保護施設「植田寮」の改築                        | 身体上または精神上の理由により援護などを要する人が必要な生活扶助を受ける施設を改築 | 基本設計                | 耐震工事              | -        | 健康福祉局 |
| - の理由：緊急性の高い耐震工事や老朽化への対応を優先することとしたため。 |   |                     |                   |          |       |

## 1-2 健康

## 1 生涯にわたる心身両面の健康づくり

## ●数値目標

|                     | 計画策定時の数値  | 18年度実績値 | 目標値  |      | 進捗状況 | 所管局   |
|---------------------|---|---------|------|------|------|-------|
|                     |   |         | 18年度 | 22年度 |      |       |
|                     | 68.5%<br>(13年度)   | 66.1%   | 69%  | 70%  |      | 健康福祉局 |
| 自分が健康であると感じている市民の割合 | の理由：平成17年9月、厚生労働省が生活習慣病対策にメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の概念を導入し、広く国民に浸透しつつあることから、健康に対する考え方に変化が現れていると考えられる。 |         |      |      |      |       |

## ●事業計画

| 事業名                 | 事業内容  | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]                         | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]  | 進捗状況 | 所管局                  |
|---------------------|---|---|--|------|----------------------|
| 健康なごやプラン21の推進       | 健康なごやプラン21に基づき、生活習慣病予防や母子の健康の保持増進をはかるため、健康教育、健康相談、健康診査や新生児などの訪問指導を実施  | 基本健康診査受診率<br>60%<br><br>3か月児健康診査受診率<br>100% | 基本健康診査受診率<br>54.7%<br>55.4%<br>54.1%<br><br>3か月児健康診査受診率<br>99.2%<br>99.4%<br>99.4% |      | 健康福祉局<br><br>子ども青少年局 |
| クオリティライフ21城北整備事業の推進 | 市民の生活の質を高め、健康の総合的な保持増進をはかるため、産業技術総合研究所中部センター移転跡地を保健・医療・福祉サービスの一体的な提供を行う総合的エリアとして整備<br><br>・西部医療センター中央病院の整備に際し、小児・母子医療を強化するなど21世紀にふさわしい質の高い医療を提供 | 全体計画の作成<br><br>埋蔵文化財発掘調査の実施<br><br>実施設計     | 全体計画策定調査<br><br>埋蔵文化財発掘調査の一部実施<br><br>苦しまないがん治療調査<br><br>実施設計<br><br>用地取得          |      | 健康福祉局                |

|           |   |  |  |  |       |
|-----------|---|--|--|--|-------|
|           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の健康増進をはかる施設の整備</li> <li>・重症心身障害児者施設の整備</li> </ul> | <p>整備計画の作成</p> <p>整備計画の作成</p>                | <p>機能の検討</p> <p>健康カレッジの試行</p> <p>整備計画の作成</p>     |  |       |
| 保健所の改築・改修 | <p>千種保健所の改修</p> <p>東保健所の改築</p> <p>西保健所の移転改築</p> <p>瑞穂保健所の移転改築</p>                           | <p>改修</p> <p>検討</p> <p>着工</p> <p>完成、業務開始</p> | <p>工事着手</p> <p>検討</p> <p>実施設計</p> <p>完成、業務開始</p> |  | 健康福祉局 |

## 2 感染症対策および健康危機管理の推進

## ●数値目標

|                    | 計画策定時の数値        | 18年度実績値 | 目標値  |      | 進捗状況 | 所管局   |
|--------------------|-----------------|---------|------|------|------|-------|
|                    |                 |         | 18年度 | 22年度 |      |       |
| 新・1・2類感染症の二次感染者の数  | 0<br>(14年度)     | 0       | 0    | 0    |      | 健康福祉局 |
| 市民10万人当たりの結核の新規患者数 | 39.2人<br>(14年度) | 32人     | 35人  | 30人  |      | 健康福祉局 |

## ●事業計画

| 事業名                | 事業内容  | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]  | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]  | 進捗状況 | 所管局          |
|--------------------|---|--|--|------|--------------|
| 感染症予防対策および発生時対策の推進 | <p>感染症の発生とまん延を防ぐため、感染症の発生動向調査など情報の収集と市民への情報提供を実施</p> <p>患者発生時に迅速・的確な防疫措置を講ずるため、従事者の訓練などを強化</p> <p>東市民病院感染症病床の整備と外来時院内感染防止対策の充実</p> <p>エイズなどの性感染症の発生とまん延を防ぐため、エイズ検査機会の提供の拡大、中高生などを対象とした普及啓発活動の充実</p> | <p>実施</p> <p>実施</p> <p>東市民病院感染症部門の改修</p> <p>検査機会の拡大</p> <p>普及啓発の実施</p> | <p>実施</p> <p>実施</p> <p>東市民病院感染症部門の改修</p> <p>検査機会の拡大(日曜日検査を開始)</p> <p>普及啓発の実施</p> |      | 健康福祉局        |
| 結核対策               | 結核予防計画を策定し、感染源をなくす治療支援事業、結核多発層への検診などを強化   | 予防計画策定<br>計画に基づく事業の実施  | 予防計画策定<br>計画に基づく事業の実施  |      | 健康福祉局        |
| 衛生研究所・環境科学研究所の統合   | 試験検査や調査研究などを効率的に行ったり、市民の健康を脅かす事態が発生した場合に、その原因の分析・特定を衛生と環境の両面から総合的に行う研究所を設置  | 基本構想   | <p>建築に係る調査</p> <p>運営形態の検討</p> <p>基本構想</p>  |      | 健康福祉局<br>環境局 |

## 3 適切で迅速な医療とリハビリテーションの充実

## ●数値目標

|                          | 計画策定時の数値      | 18年度実績値 | 目標値  |      | 進捗状況 | 所管局   |
|--------------------------|---------------|---------|------|------|------|-------|
|                          |               |         | 18年度 | 22年度 |      |       |
| 市立病院に対してよい印象を持つ利用者の割合    | 68%<br>(14年度) | 83%     | 75%  | 90%  |      | 健康福祉局 |
| 市立大学病院における地域医療機関からの紹介患者率 | 43%<br>(14年度) | 48%     | 50%  | 55%  |      | 総務局   |

## ●事業計画

| 事業名       | 事業内容   | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]  | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]  | 進捗状況 | 所管局              |
|-----------|--|--|--|------|------------------|
| 市立大学病院の整備 | 高度先進医療機能を充実させるため、病棟・中央診療棟の改築に続いて外来診療棟の改築を実施  | 外来診療棟の完成   | 外来診療棟の完成   |      | 総務局              |
| 市立病院の整備   | 高度専門医療などの医療サービスを充実するため、市立病院の機能分担と連携をはかり、周産期医療、小児救急医療などの小児・母子医療、医療リハビリテーションなどの医療機能の充実および整備を推進   | 西部医療センター中央病院の実施設計  | 西部医療センター中央病院の実施設計<br><br>用地取得<br><br>市立病院整備基本計画に基づく各病院の整備の検討                   |      | 健康福祉局            |
| 医療情報の提供   | オーダリングシステム、電子カルテシステムの導入などにより、患者と医療従事者の情報の共有化をはかり、患者サービスの向上を促進<br><br>・オーダリングシステムの導入<br><br>・電子カルテシステムの導入<br><br>・市立大学病院においてクリニカル・パスを導入 | 一部稼働<br>(市立病院)<br><br>基盤整備<br>(東市民病院)<br><br>実施症例数<br>100症 | 病院情報システム(オーダリング・電子カルテシステム)導入の調査検討(市立病院)<br><br>病院情報システムの導入(東市民病院)<br><br>作成、試行 |      | 健康福祉局<br><br>総務局 |

| 事業名           | 事業内容   | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]                                   | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]   | 進捗<br>状況 | 所管局                  |
|---------------|--|---|---|----------|----------------------|
| 医療機関の<br>連携   | 紹介患者の受け入れ体制<br>の整備など、地域の医療<br>機関との機能分担・連携<br>を推進<br><br>市立大学病院と市立病院<br>などにおいて、電子カル<br>テシステムを活用した各<br>種医療情報の共有化と相<br>互利用を実施 | 推進<br><br>市立大学病院<br>と市立病院間<br>などにおける<br>ネットワーク<br>の構築 | 地域医療連携<br>のための具体<br>的方策の検討・<br>実施<br><br>市立大学病院<br>と市立病院間<br>などにおける<br>ネットワーク<br>の構築の検討 |          | 総務局<br><br>健康福<br>祉局 |
| 救急医療体<br>制の確保 | 休日などの診療時間外の<br>医療に対応するため救急<br>医療体制を確保  | 病院群輪番制<br>参加病院数<br>70病院                               | 病院群輪番制<br>参加病院数<br>67病院   |          | 健康福<br>祉局            |

## 4 食品と居住環境の衛生管理

## ●数値目標

|                | 計画策定時の数値      | 18年度実績値 | 目標値  |      | 進捗状況 | 所管局   |
|----------------|---------------|---------|------|------|------|-------|
|                |               |         | 18年度 | 22年度 |      |       |
| 食品衛生管理責任者の配置率  | -             | 30%     | 50%  | 100% |      | 健康福祉局 |
| 小規模貯水槽水道の清掃実施率 | 60%<br>(14年度) | 72%     | 80%  | 100% |      | 健康福祉局 |

## ●事業計画

| 事業名             | 事業内容  | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ]        | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]  | 進捗状況 | 所管局   |
|-----------------|---|----------------------------|--|------|-------|
| 食品の衛生管理の推進      | 食品製造・調理施設のうち、HACCP方式による自主管理を取り入れようとする営業者などに対し、その推進の中心的存在となる人材育成のため食品衛生管理責任者講習会を実施 | 食品衛生管理責任者講習会受講者数<br>累計500名 | 食品衛生管理責任者講習会受講者数<br>累計302名   |      | 健康福祉局 |
| 小規模貯水槽水道の衛生管理指導 | 貯水槽水道の管理者に対する啓発・指導により、定期的な水質検査・保守点検・清掃を実施   | 定期的な清掃実施施設<br>20,000施設     | 小規模貯水槽水道衛生管理対策協議会の設立・開催<br><br>貯水槽清掃業者講習会の開催<br><br>貯水槽清掃業者の実態調査・名簿作成<br><br>ホームページによる啓発<br><br>貯水槽清掃業者からの報告を制度化 |      | 健康福祉局 |

## 5 斎場の整備

## ●数値目標

|         | 計画策定時の数値     | 18年度実績値 | 目標値  |       | 進捗状況 | 所管局   |
|---------|--------------|---------|------|-------|------|-------|
|         |              |         | 18年度 | 22年度  |      |       |
| 火葬炉の整備数 | 46<br>(14年度) | 46      | 46   | 60～70 |      | 健康福祉局 |

## ●事業計画

| 事業名                  | 事業内容                               | 計画目標<br>[ ~ の事業量等 ] | 実績<br>[ ~ の事業量等 ]                        | 進捗状況 | 所管局   |
|----------------------|------------------------------------|---------------------|--|------|-------|
| 新斎場の整備               | 高齢化による死亡者数の増加、災害時などに対応できるよう、新斎場を整備 | 用地買収<br>実施設計        | 基本計画策定<br>環境影響調査<br>整備手法検討調査<br>現況大気濃度調査 |      | 健康福祉局 |
| の理由：地元合意形成に時間を要したため。 |                                    |                     |  |      |       |